

「J S A学際研究・市民科学発展プログラム」のサポーターを募集します！

2023年9月1日 研究企画部

J S A学際研究・市民科学発展プログラムとは、「自らの手で社会の問題を解決するために多分野の学問を深く学びたい」という意欲を持ったJ S A会員（市民・学生・研究者など）が「発案者」となり、全国のJ S A会員（市民・学生・研究者など）の中から、自らが考える研究の目標達成に主導的に協力してくれる「主協力者」と、研究を側面から支援してくれる異分野の「副協力者」を探索・組織して、その協力のもとで、オンラインによる「異分野（または異職種）協働の学際研究または市民科学」を実施する取り組みであり、その活動をJ S A全体で組織的にサポートするという構想です。

今年（2023年）5月の全国大会において、その実施の方向性が確認され、7月の幹事会において具体的な進め方が承認されました。詳しいことについては、別紙の【参考資料】をご参照ください。

つきましては、発案者が全国事務局の支援の下で、主・副協力者を探索・組織していく上で必要となる「サポーターリスト」の構築を開始します。本プログラムに協力したい（「サポーターリスト」に登録してもよい）と思われるJ S A会員の方は、別紙の【サポーターへの応募の様式】に必要事項を記入の上、全国事務局の研究企画部のメールアドレス（kenyukikaku@jsa.gr.jp）まで、添付ファイルとしてお送りください。

サポーターには、全国事務局の支援の元で、以下の項目から「できることのみ」を、オンライン（またはメール）で発案者と具体的に相談しながら、実施して頂きます。①発案者からの研究内容の相談に乗ること、②発案者の研究内容に応じた他のJ S A会員（サポーター）を紹介すること、③発案者のために定期的なセミナー等を開催してアドバイスをを行うこと、④発案者による研究成果の取りまとめを支援すること。

今後、サポーターは、随時募集を続けていきますが、なるべく早期にプログラムの体制を整えるために、現時点で参加のご意思をお持ちの方は、2024年3月末までに、ご応募を頂けますと幸いです。また本件について、ご質問やご意見のある皆さまは、遠慮なく、研究企画部の同メールアドレスまでお送りください。

○追記 「サポーターリスト」が確立できていない現時点は、未だ一般の市民・学生・研究者一般に対して、「発案者」になることへの呼びかけを始められませんが、2023年10月～2024年9月の1年間を目途として、本プログラムの「試行期間」が設定されています。その間には、全国各地から「発案者と主・副協力者のグループ」を「モニター」としていくつか募り、研究（セミナー）と交流（公開コロキウム）をスタートさせ、その過程でプログラムの問題点を明らかにするとともに、制度や体制の整備を進めていく予定です。

「試行期間」における「モニター」になる意志のある方々（発案者と主・副協力者のグループ）が居られましたら、研究企画部の同メールアドレスまで、ご連絡ください。